

問合先
学務課管理係 (☎番窓口／☎26-2332)

▼西高ホームページ



▼東高ホームページ



主な指定校推薦 ※令和7年度入試の実績

●4年制大学・短期大学

北海学園大学・北星学園大学・札幌学院大学・札幌大学・北海道医療大学・札幌保健医療大学・北海道科学大学・東海大学・武蔵女子大学・東京農業大学・藤女子大学ほか

●看護系学校

深川市立高等看護学院・砂川市立病院附属看護専門学校・滝川市立高等看護学院ほか

主な進学・就職先 ※過去3年間の実績

●進学

室蘭工業大学・北海道教育大学旭川校・函館校・釧路校・旭川市立大学・名寄市立大学・公立はこだて未来大学・北海学園大学・札幌大学・札幌学院大学・札幌大谷大学・札幌国際大学・北海商科大学・北海道医療大学・藤女子大学・天使大学・北翔大学・北海道文教大学・京都先端科学大学・旭川市立短期大学・深川市立高等看護学院・滝川市立高等看護学院・砂川市立病院附属看護専門学校・旭川厚生看護専門学校ほか

●就職

税務職員・北海道庁・深川市役所・妹背牛町役場・秩父別町役場・沼田町役場・増毛町消防職員・北いぶき農業協同組合・(株)北竜振興公社・北海道警察・空知ガス(株)・(資)ホリホールディングス・(株)シロ・(株)北菓楼ほか



深川西高等学校

…

学 科

普通科

所在地

深川市西町7番31号

電話番号

☎23-2263



深川西高等学校は、北空知で唯一の全日制普通科高校です。本校では、類型(コース)科目選択制(文理・健康福祉・教養)を導入するなど一人一人の進路目標に合わせた指導を独自の学び「F-ラーニング」として総合的に展開しています。行事では、生徒会を中心に生徒が主体となり企画・運営を行っており、3大行事であるコーラス大会や学校祭、さらには体育祭の取り組みを通して、生徒の自主性や協調性を向上させるとともに仲間との絆の大切さを体感することができます。

また、全校生徒の約6割が勉強と両立しながら部活動に参加し好成績を収めるなど、充実した学校生活を送っています。

オープンスクール

2026年9月14日(月)



深川東高等学校

…

学 科

生産科学科(農業)
総合ビジネス科(商業)

所在地

深川市8条5番10号

電話番号

☎23-3561



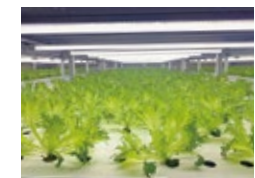
深川東高等学校は、地域産業に貢献し持続可能な社会の創り手として活躍できる、確かな技術と心を持った人材を育てる専門高校です。

農業分野の「生産科学科」では、農産物や草花の生産から加工、販売までの一連の流れを学び、6次産業化に対応した力を身に付けることができます。今年度からは「屋内施設栽培(水耕栽培)」による学びがスタートしました。

商業分野の「総合ビジネス科」では、ビジネスに必要な知識と技術を総合的に学ぶことで、地域社会で活躍する力を身に付けることができます。

令和7年度からは農業分野の「生産科学科」のみ募集となっています。

▼屋内施設栽培 (水耕栽培)



オープンスクール

2026年9月28日(月)

10月26日(月)

主な指定校推薦 ※令和7年度入試の実績

●4年制大学

酪農学園大学・東京農業大学・札幌学院大学・札幌国際大学・札幌大学・札幌保健医療大学・星槎道都大学・日本医療大学・北翔大学・北海学園大学・北海道医療大学・北海道科学大学・北海道情報大学・北海道文教大学ほか

●短期大学

國學院大学北海道短期大学・北翔大学短期大学部・北海道武蔵女子短期大学・帯広大谷短期大学・函館大谷短期大学ほか

主な進学・就職先 ※過去3年間の実績

●進学

札幌大学・札幌学院大学・北海道立農業大学校・深川医師会附属准看護学院・札幌情報ITクリエイター専門学校・旭川情報ビジネス専門学校・札幌調理製菓専門学校・札幌情報未来専門学校・旭川歯科学院専門学校・旭川理容美容専門学校ほか

●就職

北海道警察・自衛官・きたそらち農業協同組合・(株)秩父別振興公社・星野リゾートマム・(株)コメリ・ネットヨタたいせつ(株)・イオン北海道(株)・北海道コココーラボダクツ(株)・森山病院・藤原製麺(株)ほか

両校の生徒が受けられる

各種支援内容

通学交通費助成

通学距離が片道6km以上の生徒の通学定期券購入代金の一部を助成します。助成額は定期券購入代金から一定額(鉄道 月3,000円、バス 月5,000円)を差し引いた額の3分の1(1人年額5万円限度)。

【令和7年度の実績】

《東高》21人

《西高》51人

将来の目標・意識付け助成

生徒の将来の目標や意識付けのために学校が開催する進路講話などの事業経費を全額助成します。

【令和7年度の実績】

《東高》芸術鑑賞事業

《西高》ともしび(旧カタリ場、大学生との意見交換)事業

運転免許取得助成

深川自動車学校に入学し普通自動車運転免許を取得した場合に、教習費用の10%が助成される対象校です。

【令和7年度の実績】

《東高》17人

《西高》37人

学力向上に向けた助成

資格取得のための養成講座の受講料や、英語力強化のための検定受験料などを助成します。

【令和7年度の実績】

《東高》検定試験問題集などの教材費

《西高》スタディサポート受験料(1人1,800円を50人に助成)、スタディサブリ利用料(1人4,960円を18人に助成)

模擬試験・資格取得試験の助成

各種模擬試験や各種資格取得試験の受験(検)料を助成します。

【令和7年度の実績】

《東高》簿記検定、食品衛生責任者、英語検定、危険物取扱者、ガス・アーク溶接、情報処理検定などの受験(検)料(1回1,000円～5,000円程度を延べ339人に助成)

《西高》大学模擬試験、看護模擬試験、公務員模擬試験、英語検定などの受験(検)料(1回500円～5,000円程度を延べ646人に助成)

卒業生に聞く、高校時代と現在

＃深川西高等学校



堀江 真礼 さん

北海道教育大学旭川校／教員養成課程



Q. 高校の先生とのエピソードで今の自分に影響を与えていることは？

3年間担任を務めた先生は日常の会話を大切にされる先生だったため、進路や勉強だけでなく学校生活の何気ない出来事についても気軽に話すことができました。安心して相談できる先生の存在は私の大きな心の支えとなり、生徒一人一人に寄り添える教師になりたいと思うきっかけとなりました。

Q. キャンパスライフでテンションが上がる瞬間は？

学食で昼食を食べる時間です。一人暮らしを始めて自炊が増えましたが、週替わりの多彩なメニューや自分では作りにくい魚料理、栄養バランスの良い食事を楽しめます。また、友人と一緒に過ごせる貴重な時間でもあり、心も体も元気になれるひとときです。



五十川 結菜 さん

砂川市立病院附属看護専門学校



Q. 西高に進学した決め手は？

指定校推薦の枠が多く、進学に向けた環境が整っていることに魅力を感じました。また、自宅から通学できるため通学時間を有効に使うことができ、勉強との両立を図りながら、部活動やアルバイトなどさまざまなことに挑戦できると思い、西高を選びました。

Q. 学校生活について教えてください！

講義だけでなく、演習や実習を通して看護に必要な知識や技術を学んでいます。また、自治会に所属し、学校行事の運営や企画に携わることで、学年を超えた交流を深めています。さらに、学校生活とアルバイトを両立する中で、時間を効率的に管理する力や責任感を身に付けながら、看護師という目標に向けて日々努力しています。



山口 公平 さん

税務大学校



Q. 西高に進学した理由は？

生徒一人一人の進路希望に合わせて科目が選択できるほか、大学進学に向けた放課後講習や長期休業中の講習など、サポート体制が充実しており、自分のやりたいことを実現できる環境が整っていると思い、西高を選びました。

Q. 高校時代、意識して取り組んでいたことは？

公務員になるという目標に向けて、1年生から計画的に学習へ取り組みました。毎日継続して学習する習慣を身に付け、2年生からは公務員模試を受験して自分の実力や課題を把握し、結果を

もとに学習計画を見直ししながら勉強を進めました。また、わからないことは積極的に先生へ質問し、理解を深めるよう努めました。

Q. 高校時代の授業で現在の進路につながっていることは？

探究学習ではさまざまな職業について調べるだけでなく、職業説明会、税務職員や警察官の方から直接話を聞く機会がありました。こうした経験を通じて、それぞれの職業への理解が深まり、自分に合った仕事について考えることができたのが現在の進路を選ぶ大きなきっかけとなりました。



鵜飼 瑛太 さん

北海道立農業大学校／稲作経営学科



Q. 高校で習得した資格のうち、進学先で役立っているものは？

農業検定3級、危険物取扱者、食品衛生管理者、ガス溶接などが役立っています。農業大学校でも資格取得に向けた授業がありますが、高校時代に取得していたため、その時間をほかの講義に充てることができます。高校で積極的に検定や資格取得に挑戦したことが、現在の学びの大きな強みになっています。

Q. 学校生活について教えてください！

稲作を中心に農業全般について学びながら、実習やゼミ活動を通して知識と技術を深めています。また、農業簿記や経営についても学び、稲作実習では、育苗方法や肥料計算などを習得するなど、将来の就農に向けて充実した学校生活を送っています。



松林 舞旺 さん

東川国際文化福祉専門学校／こども学科



Q. 高校時代のお気に入りの時間・場所は？

昼休みに教室で友人と食事をしながら、さまざまな話をする時間がお気に入りでした。また、放課後の部活動では、先輩や後輩と励まし合いながら練習に打ち込むことができ、充実した時間を過ごしました。どちらも高校生活の大切な思い出です。

Q. キャンパスライフでテンションが上がる瞬間は？

特にテンションが上がったのは対面式です。全学科の学生が集まり、それぞれの学科や先生方の紹介を聞いたときは、これから始まる学校生活への期待で胸が膨らみました。また、授業では、これまで続けてきたピアノを弾く時間や、体育の授業で体を動かしながらクラスメートと交流する時間に楽しさや充実感があります。



本田 桃子 さん

札幌大学／地域共創学群



Q. 高校時代、今の学校へ進学するために意識していたことは？

内申点(評価)を高く維持することを意識し、毎日の授業を真剣に取り組みながら、提出物や定期テストに向けて計画的に学習し、継続して努力してきました。

Q. 高校時代の目標は？

人に教えたり、人を支えたりする仕事に興味があり、将来は教員になりたいと考えていました。学校生活を通して、先生方が生徒一人一人に寄り添い支える姿に憧れ、私も誰かの力になれる存在になりたいという思いが強くなりました。



Q. 進学してから感じた地元の良さは？

人との距離が近く、温かい地域のつながりがあるとところが地元の魅力です。また、自然が身近にあり、落ち着いて生活できる環境にも恵まれています。大学に進学してからは、改めて地元の暮らしやすさや安心感を実感し、人とのつながりや支え合いの文化が、地元ならではの良さだと感じています。